

平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 国際課

担当名: 多文化共生・NGO担当

内線: 2714

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
A6	語学指導助手等招致事業費			一般会計	総務費	県民費	国際交流費	語学指導助手等招致事業費	
事業期間	昭和62年度～	根拠法令	なし			戦略項目			
						分野施策	050302 多文化共生と国際交流・協力の推進		
1 事業概要 埼玉県に語学指導助手等を招致するとともに、国際課に国際交流員を2人配置する。 (1) 国際交流員関係費 $\Delta 1,005$ 千円 国際交流員の住居賃借料等の減、需用費の節減に伴う減				5 事業説明 (1) 事業の内容 ア 招致外国青年受入費 183 千円 (当初 183 千円) 埼玉県に語学指導助手を招致し、中学校・高等学校での語学指導や、県民との交流事業に従事させることにより県の国際化を推進する。 (ア) 語学指導助手等のあっせん、配置 (イ) 語学指導助手等の活用促進 イ 国際交流員関係費 $12,134$ 千円 (当初 $13,139$ 千円) 国際交流員の雇用 2 名 ウ 埼玉県語学指導助手受入れ活用連絡協議会補助 140 千円 (当初 140 千円) (2) 事業計画 平成27年度 国際交流員 2 名雇用 (一財) 自治体国際化協会及び国が実施した事業運用改善による、報酬増 平成28年度以降 県内のJET任用数の動向により、事務の増加も見込まれる (3) 事業効果 県内JET受入数 平成26年度 89 人→平成27年度 92 人(さいたま市の4名を含む) 国(総務省、外務省、文部科学省)から自治体におけるJETの活用促進に関する通知が出ており、全国的には受入増加傾向にある 国際交流員の増員 平成24年度から1名増員となったため、庁内からの通訳・翻訳依頼に、従来よりも多く対応できている (4) 補正予算の概要 国際交流員関係費: 国際交流員の住居賃借料等の減、需用費の節減に伴う減					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 交付税措置あり									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 $9,500$ 千円 $\times 0.8$ 人 = $7,600$ 千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	$\Delta 1,005$	諸収入	$\Delta 474$					$\Delta 531$	$12,457$
現計額	$13,462$		$1,993$					$11,469$	